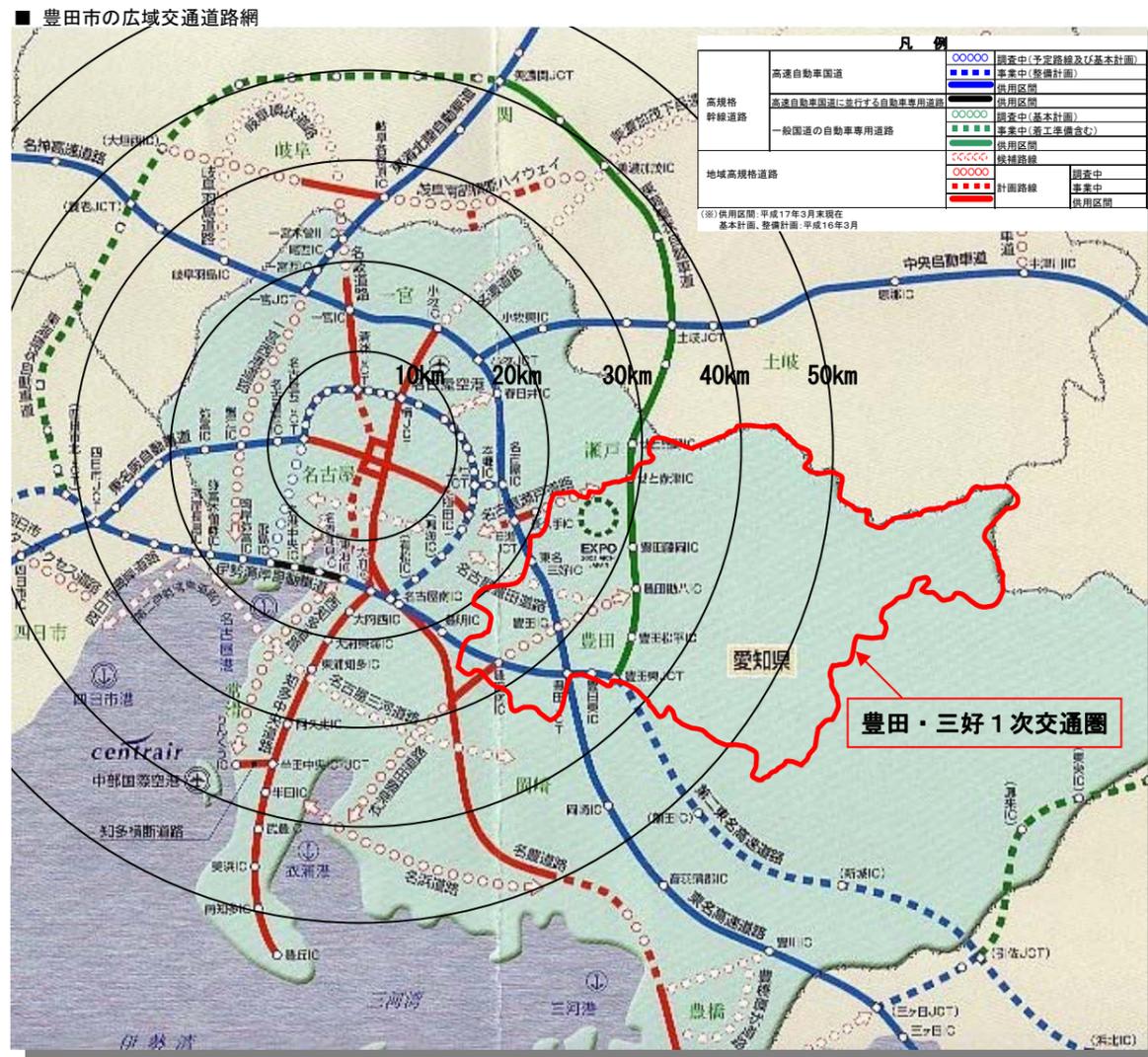


◆ 2. 豊田市の交通網の現状

2-1 広域交通網の現状

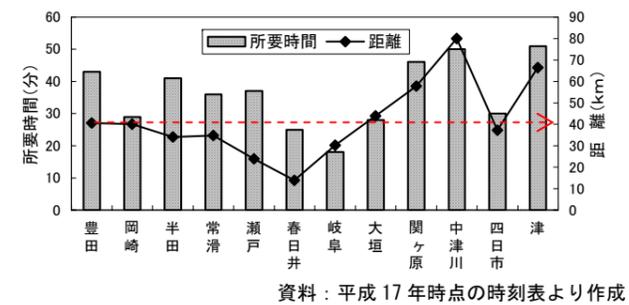
- ▶ 豊田地域中心部は名古屋駅から20~30kmに位置し、旧町村地域は同40~60kmに位置している。
- ▶ 豊田市を取り巻く広域交通網は、高速道路、一般国道、及び鉄道等の公共交通により形成されている。高速道路は豊田地域内の外縁部を走っており、一般国道や鉄道は、豊田市駅を中心に放射状に交通網が延びている。
- ▶ 自動車交通は、東名高速道路、伊勢湾岸自動車道及び東海環状自動車道の3つの高規格幹線道路が結節する広域交通の要衝として県外等とのアクセスを担い、市内には6箇所のインターチェンジがある。
- ▶ 名古屋市をはじめとした近郊の主要都市とは一般国道153・155・248号等で結ばれている。
- ▶ 公共交通では、市域の西部を愛知環状鉄道、名鉄三河線・豊田線の鉄道が南北・東西方向に走っており、高速道路を利用し豊田市駅と名古屋駅、中部国際空港を結ぶ高速バスも運行されている。また、都市間を連絡する路線バスとしては、豊田市駅から三好町を通り赤池駅とを結ぶ路線がある。



資料：高規格幹線道路&地域高規格道路(愛知県)を編集

- ▶ 豊田市は、名古屋市と近接しているものの、名古屋駅を中心とした場合、他の主要都市間の距離に対し、アクセス所要時間が非常に長く、鉄道での利便性が比較的劣っていることが伺える。
- ▶ 豊田市駅から名古屋駅間の鉄道利用を考えた場合、名古屋駅までの距離がほぼ同じである岡崎市、大垣市、四日市市では所用時間が約30分であるのに対し、豊田市ではその1.5倍程度となっている。

■ 名古屋駅と主要都市代表駅の距離と鉄道による所要時間

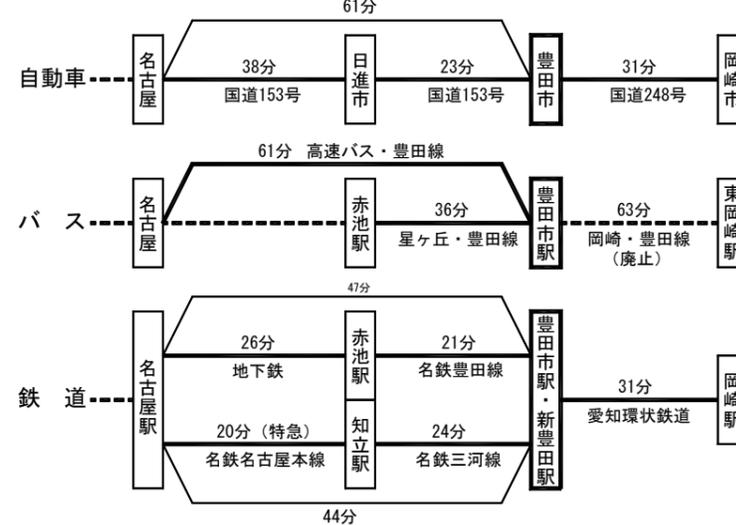


■ 鉄道路線網と名古屋駅を中心とした鉄道での60分圏



- ▶ 豊田市と流入・流出の多い名古屋・岡崎との所要時間を手段別にみると、鉄道利用は自動車と同等、あるいは鉄道駅へのアクセス時間及び乗り継ぎ時間等を考慮すれば、鉄道利用の方が所要時間は長くなることが考えられる。ただし、豊田市駅と岡崎市を結ぶ路線バスは平成14年に廃止され直通する路線バスは現在運行されていない。
- ▶ 豊田市駅と名古屋駅を結ぶ高速バスの所要時間は約1時間となっている。
- ▶ このように、豊田市は周辺地域との公共交通での移動の利便性が低く、自動車交通を促す交通アクセス条件となっている。

■ 豊田市駅と名古屋・岡崎を結ぶ交通手段別の所要時間



資料

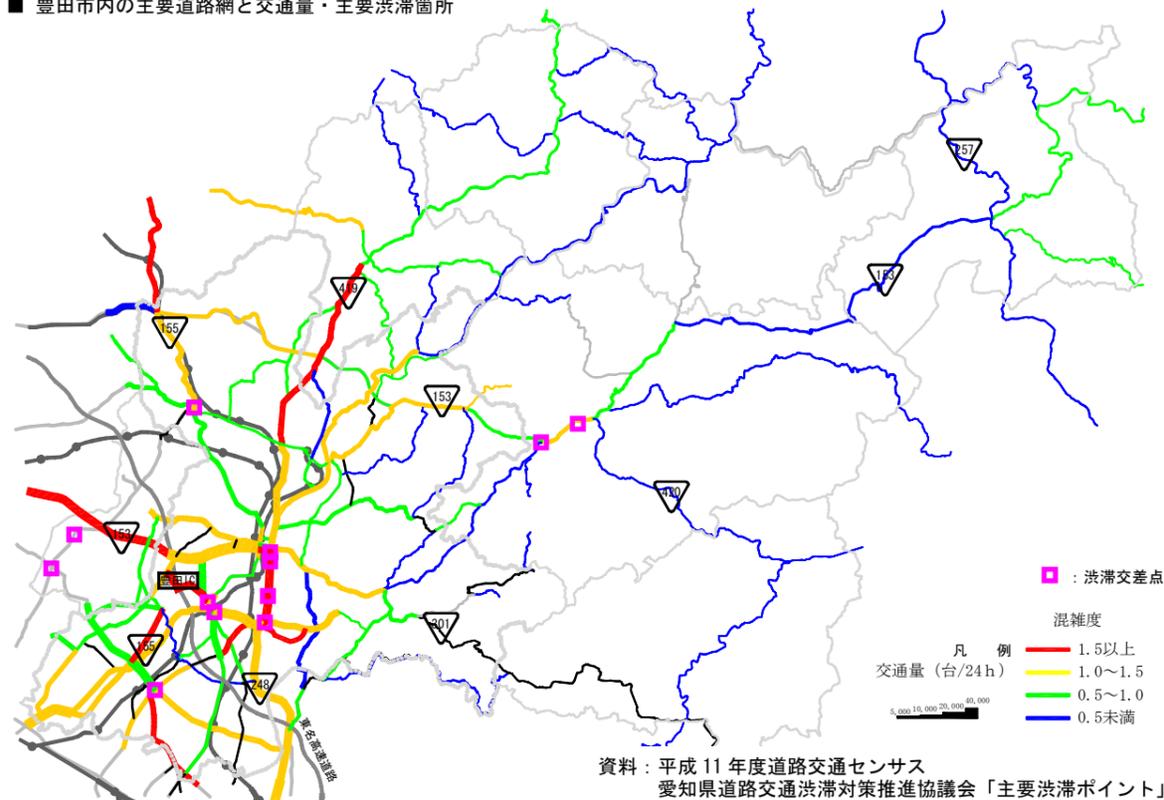
自動車：「2001道路時刻表」より
名古屋：国道153・22・19号交差点
日進市：赤池駅付近
豊田市：国道153・248号交差点
岡崎市：国道248・1号交差点
バス：平成13年時点時刻表より
(高速バスは平成17年時刻表より)
鉄道：「時刻表」より
乗り継ぎ時間は考慮していない

2-2 道路交通

2-2-1 主要道路網と交通量

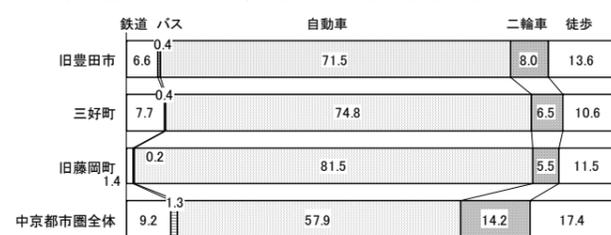
- 豊田市の幹線道路網は、153号、155号、248号、419号などの国道が中心市街地から放射状に伸びている。
- これらを補完する岡崎足助線、名古屋岡崎線などの主要地方道、さらに豊田東郷線、豊田環状線などの一般県道などにより豊田地域の幹線道路網を構成している。
- 旧町村地域では一般県道で各地区間を結んでいる。
- 国道については、豊田市中心市街地付近の一部が4車線化されている他はすべて2車線である。
- 平成11年道路交通センサスによると、国道153号、国道248号の交通量が多く、豊田市中心市街地では40,000台/日を越す交通量が観測されている地点もある。

■ 豊田市内の主要道路網と交通量・主要渋滞箇所

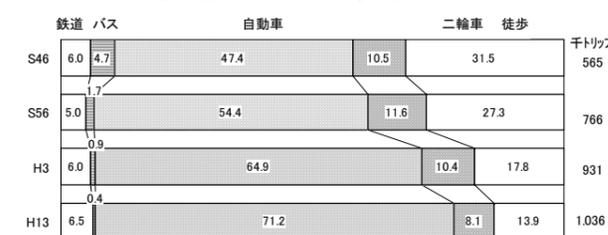


- 旧豊田市の自動車交通割合は極めて高く、全国的にも高い中京都市圏が約58%に対し旧豊田市では70%を超え、さらに三好町は約75%、旧藤岡町では80%を超えている。
- 昭和46年から平成13年の30年間に於いて旧豊田市では自動車利用の割合が約47%から2.8倍程度にまでなっている。

■ 代表交通手段トリップ構成比の中京都市圏との比較



■ 旧豊田市の代表交通手段別トリップ構成比の推移



資料：第4回中京都市圏パーソントリップ調査（調査対象地域に旧藤岡町を除く旧町村地域は含まれていない）

2-2-2 主な渋滞箇所

- 豊田市内には1号要件※に該当する主要渋滞ポイントが6カ所、2号要件※に該当する主要渋滞ポイントが1カ所あり、路線別に見ると国道153号が2カ所、国道155号が2カ所、そして国道248号が3カ所となっている。これらのポイントは中心市街地の南北方向に連なっている。
- 混雑度※が1.5以上の地点は国道153号、248号、419号の一部の区間に見られ、混雑度の最も高い区間は豊田安城線深田町付近（豊田IC付近）での2.30、国道では248号のトヨタ町付近が1.90となっている。

※1号要件：一般道路（DID内）：渋滞長が1km以上、または通過時間が10分以上
一般道路（DID外）：渋滞長が500m以上、または通過時間が5分以上

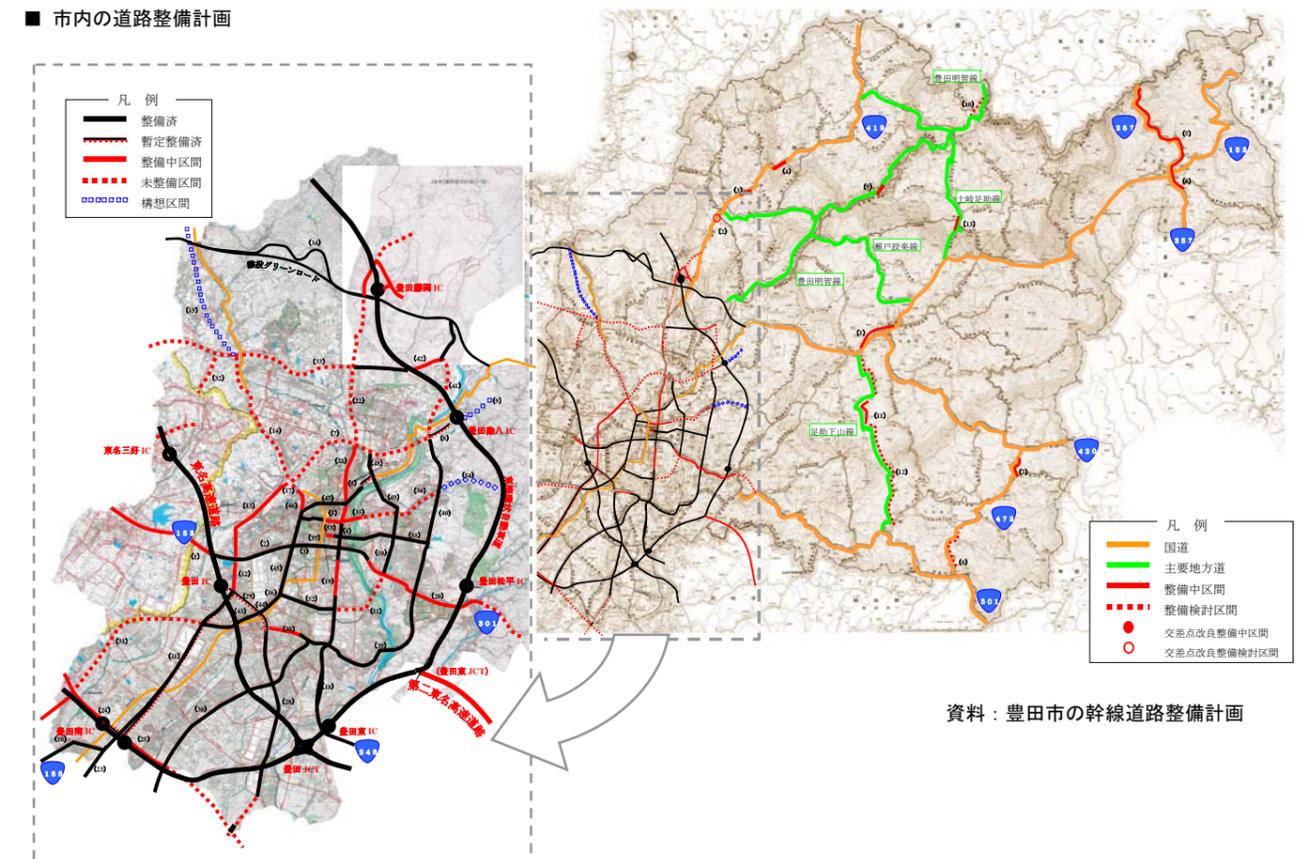
※2号要件：1号要件に準ずる箇所、渋滞対策が必要な箇所。観光期の渋滞箇所

※混雑度：当該道路の設計交通容量に対する実際の交通量の比で表すもので、混雑度が1以上になると、交通量が道路の容量をオーバーするが生じ、その値が大きいほど混雑の度合いが大きく、概ね1.5を超える混雑度はピーク時間帯を中心に慢性的な渋滞が生じる状況となる。

2-2-3 道路計画

- 豊田市の都市計画道路は、旧豊田市79路線、総延長は300,210mである。
- 旧豊田市の都市計画道路整備率は52.1%であり、市街地部周辺の環状路線や放射路線の中心市街地外縁部の区間で未整備となっている路線が多い。

■ 市内の道路整備計画



2-3 公共交通

2-3-1 公共交通ネットワーク

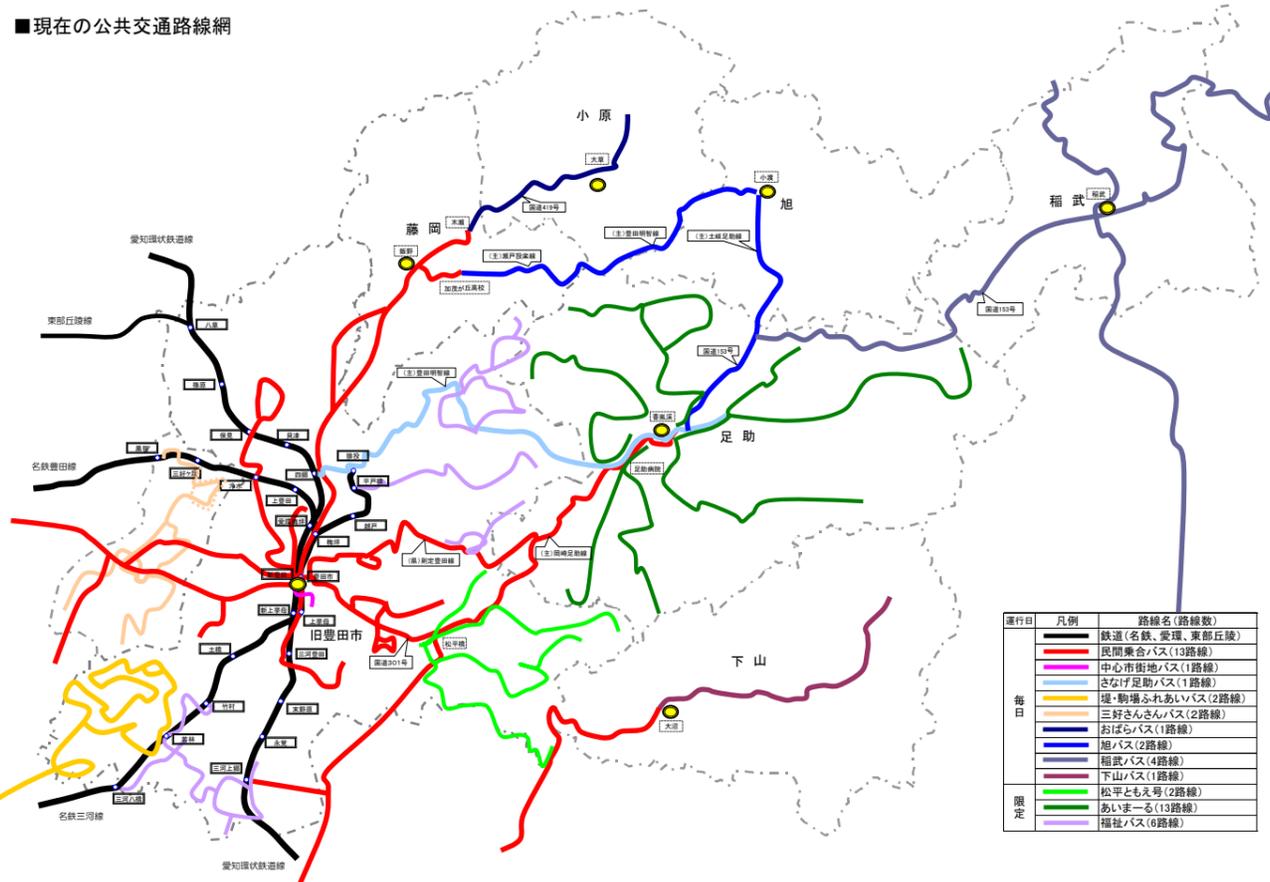
- 豊田市の公共交通網は、鉄道・主要バス路線とも豊田市駅を中心とした放射状に形成されている。
- 鉄道は名鉄三河線・豊田線と愛知環状鉄道を有しており、それぞれ知立方面、名古屋方面、瀬戸・高蔵寺方面、岡崎方面に伸びている。また、豊田地域の北端部には平成17年3月に東部丘陵線が開通し、愛知環状鉄道の万博八草駅と結んでいる。
- 豊田地域内のバス路線は、昭和45年(1970年)ではほぼ全域を網羅していた。その後、相次いで路線が廃止され、現在では13路線28系統が運行されているに留まっている。このうち、保見団地の浄水駅循環系統と東岡崎駅を結ぶ3路線(岡崎市内線、岡崎・足助線、大沼線)以外の23系統が豊田市駅を起終点としている。
- 路線バスが廃止された地域や、旧町村地域の過疎部では、生活交通を確保するため市・町の運行する貸切バスや福祉バス、さらにはスクールバスを運行し公共交通空白地域の解消に努めている。

■ 豊田地域を例としたバス路線の変遷



資料：名古屋鉄道株式会社

■ 現在の公共交通路線網

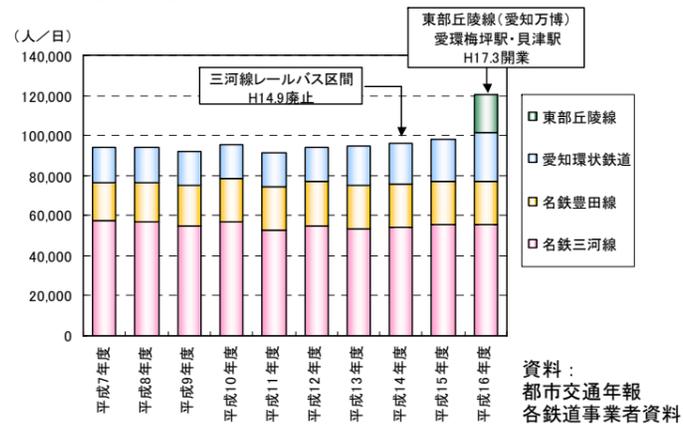


運行日	凡例	路線名(路線数)	
		色	系統数
毎日	■	鉄道(名鉄、愛理、東部丘陵)	
	■	民間乗合バス(13路線)	
	■	中心市街地バス(1路線)	
	■	さなげ足助バス(1路線)	
	■	堤・駒場ふれあいバス(2路線)	
	■	三好さんさんバス(2路線)	
	■	おぼろバス(1路線)	
	■	稲久バス(2路線)	
	■	下山バス(1路線)	
	■	松平ともえ号(2路線)	
	■	あいまーる(13路線)	
	■	福祉バス(6路線)	
	限定	■	あいまーる(13路線)
■		福祉バス(6路線)	

2-3-2 鉄道路線と駅利用者数

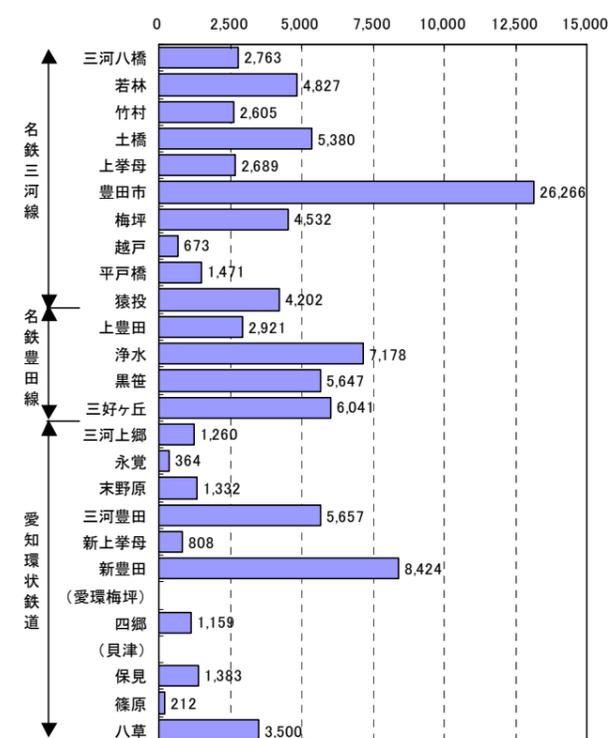
- 鉄道駅は豊田市内に24駅を有し、愛知環状鉄道の貝津駅と愛環梅坪駅は、平成17年3月に開業した新駅である。また、東部丘陵線も同時期に開業し、豊田市内には陶磁資料館南駅と万博八草駅の2駅が市北端部にある。
- 名鉄三河線と豊田線は豊田市駅及び梅坪駅で接続しており、愛知環状鉄道の新豊田駅と名鉄豊田市駅はペデストリアンデッキで接続されているものの、約250m離れている。また、北部の万博八草駅では愛知環状鉄道と東部丘陵線が接続している。
- 鉄道駅利用者数は、平成7年度以降ほぼ横ばいであるが、愛知環状鉄道を中心に若干の増加傾向にある。
- 駅の乗降客数は交通の結節点である豊田市駅が圧倒的に多く、約26千人/日の利用者がある。
- 隣接する新豊田駅は8千人/日程度であり、郊外型の大規模住宅地を近くに有す浄水駅も比較的用户者が多くなっている。
- また、鉄道の端末交通として毎日運行しているバス路線が乗り入れているところは約半数の11駅である。

■ 鉄道駅乗降者数の推移



資料：都市交近年報 各鉄道事業者資料

■ 鉄道駅乗降者数(人/日)：平成16年度

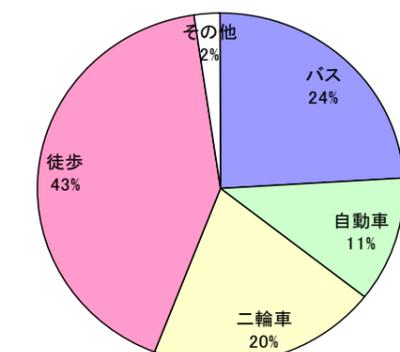


■ 鉄道端末交通手段割合と接続しているバス路線の状況

路線名	駅名	乗降者数(人/日)	鉄道端末交通手段割合(%)					駅前広場整備状況	駅乗換バス停の有無	接続バス路線	駅バス乗降者数(参考)(人/日)
			バス	自動車	二輪車	徒歩	その他				
名鉄三河線	三河八橋	2,763	0.0%	2.2%	60.5%	37.3%	0.0%	×	△	福祉バス	
	若林	4,827	1.3%	20.9%	42.2%	35.7%	0.0%	×	△	福祉バス	
	竹村	2,605	1.5%	17.2%	42.7%	35.4%	3.2%	×	△	福祉バス	
	土橋	5,380	1.5%	16.6%	28.7%	51.9%	1.3%	×	×		
	上拳母	2,689	10.2%	0.6%	35.0%	54.2%	0.0%	×	○	名鉄(豊田市内線)	4,855
	豊田市	26,266	28.1%	9.7%	13.1%	46.1%	2.9%	○	○	名鉄(10路線)、中心市街地バス	
	梅坪	4,532	13.5%	14.5%	14.5%	50.9%	6.6%	○	○	名鉄(藤岡線)	60
名鉄豊田線	越戸	673	0.0%	0.0%	12.1%	87.9%	0.0%	×	×		
	平戸橋	1,471	0.0%	9.3%	10.9%	79.7%	0.0%	×	△	福祉バス	
	猿投	4,202	0.0%	11.1%	35.5%	53.4%	0.0%	×	○	さなげ足助バス	
	上豊田	2,921	8.0%	22.1%	30.0%	40.0%	0.0%	×	×		
	浄水	7,178	33.9%	21.1%	9.8%	35.2%	0.0%	○	○	名鉄(保見団地線)	592
	黒笹	5,647	26.2%	8.2%	19.4%	44.5%	1.8%	○	○	三好さんさんバス	
	三好ヶ丘	6,041	57.4%	6.0%	8.7%	22.6%	5.3%	○	○	三好さんさんバス	
愛知環状鉄道	三河上郷	1,260	6.4%	51.0%	17.8%	24.8%	0.0%	○	○△	名鉄(岡崎市内線)、福祉バス	
	永覚	364	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	×	×		
	末野原	1,332	0.0%	48.7%	21.5%	29.7%	0.0%	×	×		
	三河豊田	5,657	4.5%	4.5%	22.0%	68.9%	0.0%	○	○	名鉄(豊田市内線)	235
	新上拳母	808	0.0%	0.0%	17.8%	64.4%	17.8%	○	△	名鉄(豊田市内線)	50
	新豊田	8,424	35.7%	4.2%	16.2%	37.7%	6.3%	○	○	(名鉄(10路線)、中心市街地バス)	(4,855)
	(愛環梅坪)	66	—	—	—	—	—	○	×		
愛知環状鉄道	四郷(貝津)	1,159	20.7%	55.9%	11.7%	11.7%	0.0%	○	○	さなげ足助バス	53
	保見	38	—	—	—	—	—	○	×		
	保見	1,383	55.7%	0.0%	16.3%	28.0%	0.0%	○	○	名鉄(保見団地線)	127
	篠原	212	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	×	×		
	八草	3,500	58.8%	1.9%	7.7%	29.9%	1.6%	○	○		
合計	101,398	24.1%	11.5%	20.2%	41.9%	2.3%	15/26				

注) 豊田線梅坪駅は三河線に含む。愛環新駅(貝津、愛環梅坪)は開業3月分のみ。
 注) 駅広及び駅乗換バス停(駅前道路含む)は現時点
 資料) 鉄道駅乗降者数：平成16年度鉄道事業者資料
 駅バス乗降者数：平成13年度調査による(現在と路線数が異なる)
 鉄道端末交通手段割合：平成12年度大都市交通センサス(定期利用者乗降計)

■ 鉄道端末交通手段割合(全駅計)



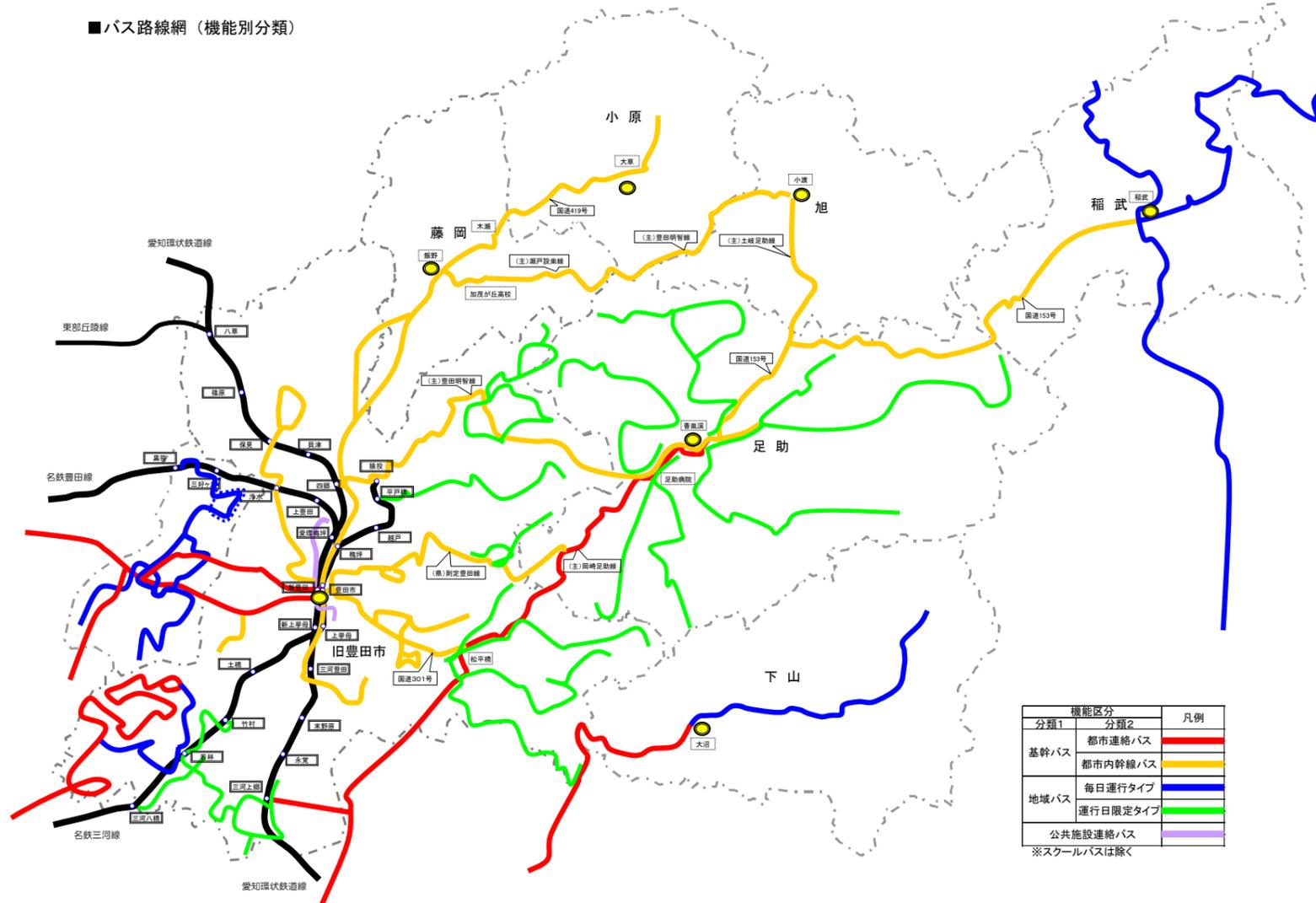
資料：鉄道事業者資料

2-3-3 バス路線と利用状況

- バス路線も豊田市駅を中心に放射状に形成されているが、市内の基幹的役割を担う名鉄バス路線は、豊田市駅周辺とその近郊住宅地を結ぶ路線と、三好、藤岡、足助地区を結ぶ路線しかない。
- 豊田地域南西部の高岡地区には民間バス路線が無いものの鉄道が通っている。その他の小原、旭、稲武、下山地区については豊田地域と直接結ばれた公共交通機関が無い。特に下山地区については、岡崎方面とは結ばれているものの、豊田地域とは接続されていない。
- 上記の民間バス路線や鉄道のない公共交通不便地域では、市合併以前より、行政や地域が主体となった様々な地域交通（貸切バス、福祉バス、乗合タクシー）が展開されている。
- 各地域交通は、地域によって様々な手法、サービス水準で展開されており、基本的には鉄道や基幹バス路線の主要な駅・バス停に接続する支線路線として運行している。

- 現在運行されているバス路線及び乗合タクシー等を、接続する地区に着目し「基幹バス」、「地域バス」、「公共施設連絡バス」に区分した。
- 基幹バスは、バス交通において基幹的役割を担い、さらに市外の主要都市を結ぶ「都市間連絡バス」と、圏域内における各地区を連絡する「都市内幹線バス」に区分し、前者は民間バス路線を基本に、後者は需要に応じ民間バスまたは行政が関与するバスにより展開している。
- 地域バスは、概ね各地区内において、主要な鉄道駅やバス停に接続した地域住民の生活交通確保手段として、需要やニーズに応じ「毎日運行タイプ」と「運行日限定（週2日運行等）タイプ」で展開されている。
- また、豊田市中心市街地において、主要な公共施設を連絡するバスが運行されている。
- 需要が少なく民間で運行することが困難な路線は、地域が主体となり行政が支援する形で住民の生活交通確保に努めている。

■バス路線網（機能別分類）



■バス路線の機能分類別一覧

分類1	分類2	運行主体	内容	現況路線分類
基幹路線（バス）	都市間連絡路線（バス）	民間乗合バス事業者 行政	・豊田三好1次交通圏と圏外の主要都市を連絡する幹線バス路線	名鉄星ヶ丘豊田線（日進市） 名鉄岡崎足助線（岡崎市） 名鉄岡崎市内線（岡崎市） 名鉄大沼線（岡崎市） ふれあいバス2番路線（知立市）
	都市内幹線路線（バス）	民間乗合バス事業者 行政	・地区間を連絡する幹線バス路線 ・豊田三好1次交通圏内で民間乗合バス事業者が運行する需要の多い幹線バス路線	名鉄藤岡線（豊田-藤岡） 名鉄八並線（豊田-足助） その他名鉄バス路線 さなげ足助バス（足助） 旭バス小渡線（小原-藤岡） 旭バス杉本線（小原-足助） おばらバス（小原-藤岡） 稲武バス足助線（稲武-足助）
地域路線（バス）	毎日運行タイプ	地域 行政	・主に地区内において鉄道駅や主要バス停に接続し、毎日運行する端末バス路線 ・支所と山間部の町村を連絡し、毎日運行する端末バス路線	ふれあいバス1番路線 あいまーるスクールバス15路線 下山バス阿蔵線 稲武バス押山線 稲武バス根羽線（根羽村） 稲武バス名倉線 設楽町営バス稲武線（設楽町）
	運行日限定タイプ	地域 行政	・主に地区内において鉄道駅や主要バス停に接続し、週1~2日運行する端末バス路線	ともえ号2路線 あいまーる13路線 （福祉バス6路線） （下山福祉バス4路線）
公共施設連絡バス		行政 民間乗合バス事業者	・鉄道駅や主要バス停と公共施設を接続し、毎日運行する公共施設連絡バス路線	中心市街地バス 名鉄北市内線

■バス路線一覧表（平成17年度）

資料：豊田市交通政策課

路線名	機能分類		陸運地域・地区											事業主体	道路運送法	運行方法	系統 路線	運行日	平日		車 両	利用料金	平成16年度実績					備考						
	1	2	豊田地域					旧町村地域											運行時間	運行 本数			利用者数	運行経費 (円/年)	料金収入 (円/年)	補助額 (円/年)	補助額 /運行経費							
			幸母	高橋	保見	猿投	石野	松平	高岡	上郷	藤岡	小原	足助																下山	旭	宿務	三好	圏外	
名鉄バス 重ヶ丘・豊田線	基幹バス	都市連絡バス	○														名鉄	4条	—	赤池駅 衣ヶ原 豊田市	毎日	6~21時台	62片	大型	区間制	1,055 人/日								
名鉄バス 重ヶ丘・豊田線	基幹バス	都市連絡バス	○														名鉄	4条	—	赤池駅 新屋 豊田市	毎日	6~22時台	68片	大型	区間制	1,918 人/日								
名鉄バス 重ヶ丘・豊田線	基幹バス	都市連絡バス	○														名鉄	4条	—	三好 衣ヶ原 豊田市	毎日	8~21時台	4片	大型	区間制	136 人/日								
名鉄バス 重ヶ丘・豊田線	基幹バス	都市連絡バス	○														名鉄	4条	—	三好 新屋 豊田市	毎日	6時台	1片	大型	区間制	35 人/日								
名鉄バス 岡崎・足助線	基幹バス	都市連絡バス									○						名鉄	4条	—	東岡崎 足助	毎日	6~20時台	20片	大型	区間制	623 人/日								
名鉄バス 大沼線	基幹バス	都市連絡バス										○					名鉄	4条	—	東岡崎 岡崎北高前 大沼	毎日	6~19時台	12片	大型	区間制	289 人/日								
名鉄バス 大沼線	基幹バス	都市連絡バス											○				名鉄	4条	—	東岡崎 大樹寺 大沼	毎日	6~18時台	2片	大型	区間制	58 人/日								
名鉄バス 岡崎市内線	基幹バス	都市連絡バス												○			名鉄	4条	補助金	三河上郷~福岡町	毎日	7~19時台	11片	大型	180~250円	15,284 人/年	5,677,849	2,703,704	2,974,145	52%				
ふれあいバス(路線2)	基幹バス	都市連絡バス													○		事業者協会	21条	補助金	知立駅~高岡町竹後	毎日	6~21時台	28片	小型・中型	200円	※4	※4	※4	※4	※4	※4	※4	※4	※4
名鉄バス 九久平線	基幹バス	都市内幹線バス	○	○													名鉄	4条	—	豊田市 (豊田S) 中場内	毎日	6~20時台	40片	大型	区間制	743 人/日								
名鉄バス 矢並線	基幹バス	都市内幹線バス	○	○													名鉄	4条	—	豊田市 足助	毎日	6~18時台	8片	大型	区間制	185 人/日								
名鉄バス 矢並線	基幹バス	都市内幹線バス	○	○													名鉄	4条	—	豊田市 鞆ヶ池公園	毎日	6~21時台	31片	大型	区間制	312 人/日								
名鉄バス 東山住宅線	基幹バス	都市内幹線バス	○	○													名鉄	4条	—	豊田市 豊田市	毎日	6~21時台	42片	大型	区間制	832 人/日								
名鉄バス 豊田市内線	基幹バス	都市内幹線バス	○														名鉄	4条	—	豊田市 記念病院	毎日	6~22時台	68片	大型	区間制	1,165 人/日								
名鉄バス 保見園地線	基幹バス	都市内幹線バス			○												名鉄	4条	—	浄水駅 浄水駅	毎日	6~22時台	60片	大型・中型	区間制	728 人/日								
名鉄バス 保見園地線	基幹バス	都市内幹線バス	○	○													名鉄	4条	—	豊田市 浄水駅 浄水駅	毎日	7~19時台	21片	大型	区間制	617 人/日								
名鉄バス 豊田東市内線	基幹バス	都市内幹線バス	○	○													名鉄	4条	—	豊田市 (豊田S) 豊田市	毎日	6~21時台	39片 (15片)	大型	区間制	1,057 人/日								
名鉄バス 豊田東市内線	基幹バス	都市内幹線バス	○	○													名鉄	4条	—	豊田市 五ヶ丘N.T	毎日	6~21時台	3片	大型	区間制	162 人/日								
名鉄バス 豊田東市内線	基幹バス	都市内幹線バス	○	○													名鉄	4条	—	豊田市 古瀬間町	毎日	6~22時台	29片	大型	区間制	171 人/日								
名鉄バス 藤岡線	基幹バス	都市内幹線バス	○		○												名鉄	4条	—	豊田市 猿投神社 木瀬	毎日	6~20時台	7片	大型	区間制	109 人/日								
名鉄バス 藤岡線	基幹バス	都市内幹線バス	○		○												名鉄	4条	—	豊田市 西中山 木瀬	毎日	14~19時台	4片	大型	区間制	142 人/日								
名鉄バス 藤岡線	基幹バス	都市内幹線バス	○		○												名鉄	4条	—	豊田市 猿投神社 加茂高前	毎日	8~20時台	5片	大型	区間制	72 人/日								
名鉄バス 藤岡線	基幹バス	都市内幹線バス	○		○												名鉄	4条	—	豊田市 西中山 加茂高前	毎日	6~12時台	4片	大型	区間制	96 人/日								
名鉄バス 藤岡線	基幹バス	都市内幹線バス	○		○												名鉄	4条	—	豊田市 緑化C、医療C 加茂高前	毎日	8~16時台	2片	大型	区間制	68 人/日								
名鉄バス 豊田西市内線	基幹バス	都市内幹線バス	○														名鉄	4条	補助金	豊田市~聖心駅前	毎日	8~16時台	8片	大型	180~380円	23,093 人/年	8,884,055	5,902,747	2,981,308	34%				
おばらバス	基幹バス	都市内幹線バス											○	○			東鉄	21条	負担金	上仁木~木瀬(飯野)	毎日	6~20時台	16片	中型	150~440円	9,719 人/年	20,994,595	2,540,742	18,453,853	88%				
旭・足助線	基幹バス	都市内幹線バス												○	○		オーワ	21条	負担金	小渡~足助病院	毎日	8~18時台	8片	小型・中型	150~770円	10,710 人/年	13,741,004	5,880,079	7,860,925	57%				
旭・藤岡線	基幹バス	都市内幹線バス													○		オーワ	21条	負担金	小渡~加茂丘高校	毎日	8~18時台	6片	小型・中型	150~680円	4,744 人/年	9,991,816	1,684,665	8,307,151	83%				
さなげ足助バス	基幹バス	都市内幹線バス													○		事業者協会	21条	補助金	四郷~百年草	毎日	6~21時台	40片	中型	100~600円	150,334 人/年	60,574,255	31,845,549	28,728,706	47%				
おばらスクールバス	地域バス	毎日運行タイプ													○		豊田市	—	直営	小原中、本城小、中部小	月~金曜日	6~17時台	6片	マイクロ	無料	2,965,000	244,000							
おばらスクールバス	地域バス	毎日運行タイプ															東鉄	—	委託契約	中部小	月~金曜日	7~16時台	2~3片	中型	無料	12,877,000								
おばら福祉バス(10地区)	地域バス	毎日運行タイプ															社協	—	直営	福祉の里~各地区	月~土曜日	9~16時台	4回/日・週3回 各地区3回/2ヶ月		無料	1,603,000								
ふれあいバス(路線1)	地域バス	毎日運行タイプ													○		事業者協会	21条	補助金	高岡公園~高岡商工会館	毎日	6~21時台	24片	マイクロ	200円	188,204 人/年	65,012,529	25,097,216	39,915,313	61%	利用者~補助額はふれあいバス(路線2)との合算			
あいまーる:巡回コース	地域バス	毎日運行タイプ													○		豊田市	80条	委託契約	町内巡回	毎日	10時台	1巡回	ワゴン	200円	12,082 人/年	7,951,953	3,312,300	4,639,653	58%	料金収入はあいまーる全体利用者数、経費、補助額はあいまーる巡回コースとの合算			
あいまーる:スクールバス15路線	地域バス	毎日運行タイプ													○		豊田市	—	委託契約		月~金曜日	7~16時台	2片	小型・マイクロ	無料 高校生以上200円	33,600,503	※2					※2: あいまーる巡回コース参照		
押山線	地域バス	毎日運行タイプ													○		豊田市	80条	委託契約	福武~押山	月~土曜日	6~18時台	10片	中型	150~990円	7,940 人/年	4,624,309	2,214,564	2,409,745	52%				
根羽線	地域バス	毎日運行タイプ													○		豊田市	80条	委託契約	福武~根羽	月~土曜日	6~18時台	10片	中型	150~990円	14,207 人/年	8,186,558	4,062,976	4,123,582	50%				
名倉線	地域バス	毎日運行タイプ													○		豊田市	80条	委託契約	福武~下山	月~土曜日	11時台	2片	中型	150~990円	129 人/年	529,567	17,026	512,541	97%				
設楽町営バス:福武線	地域バス	毎日運行タイプ													○		設楽町	80条	負担金		月~土曜日	8~17時台	6片	小型・中型	140円~	-	-	-	-	-	-			
下山バス	地域バス	毎日運行タイプ													○		名鉄	21条	負担金	大沼~阿蔵	毎日	6~18時台	10片	小型・中型	70~330円	2,002 人/年								
下山スクールバス:4路線	地域バス	毎日運行タイプ													○		豊田市	—	委託契約		毎日(休学期間除く)	7~17時台		マイクロ・ワゴン	無料	5,132,400								
さんさんバス:2路線	地域バス	毎日運行タイプ													○		つばめ	21条	負担金	明知下公民館~黒笹 福田児童館~黒笹	毎日	6~21時台	各22片	小型	100円	194,554 人/年	44,328,300	17,894,700	26,433,600	60%				
乗合タクシー:10地区	地域バス	毎日運行タイプ													○		つばめ	21条	負担金	三好町内10地区12箇所	毎日	随時	予約	タクシー	100円 (乗継を含む)	353 人/半年	94,620	20,400	74,220	78%	さんさんバスとの乗継平成16年10月より本格運行			
三好ヶ丘ループ	地域バス	毎日運行タイプ													○		会員制	4条 一般貸切	契約	三好ヶ丘駅~三好ヶ丘団地内~三好ヶ丘駅	月~金曜日	18~22時台	6巡回 9巡回	マイクロ	10枚2000円の回数券	6,716 人/半年	-	1,577,340	-	-	-	-	平成16年10月より運行	
松平ともえ号(路線1)	地域バス	週2日運行タイプ													○		事業者協会	21条	補助金	ジュリナ~東窓口	週2日	8~17時台	9片	ワゴン	100円	4,897 人/年	5,297,345	489,700	4,807,645	91%	利用者~補助額は松平ともえ号(路線2)との合算			
松平ともえ号(路線2)	地域バス	週2日運行タイプ													○		事業者協会	21条	補助金	日明上~長沢上	週2日	7~16時台	14片	ワゴン	100円	※5	※5	※5	※5	※5	※5	※5	※5	
福祉バス ささゆりコース	地域バス	週2日運行タイプ													○		事業者協会	21条	補助金		週2日	8~15時台	4巡回	ワゴン	100円	6,637 人/年	10,461,371	663,700						

2-3-4 公共交通のサービス水準

(1) 鉄道

- 鉄道のサービス水準は、名鉄線・愛知環状鉄道とも終日概ね 15～20 分間隔の運行が確保されている。
- しかしながら、全路線とも各駅停車の路線であるため、広域的なアクセスとしての速達性が十分発揮できていない。
- 特に名鉄三河線と愛知環状鉄道は基本的に単線であるため、輸送力・速達性向上が困難な状況にある。ただし、愛知環状鉄道については万博対応により部分的に複線化されており、さらに自動車から鉄道への転換方策の一環として新豊田駅～三河豊田駅間の部分複線化が計画されている。

■ 各鉄道路線の基本的なサービス水準

鉄道名	区間	線路状況	運行本数(本/日)	時間帯	豊田市駅及び新豊田駅からの運賃(円)	ピーク時運行本数(本/時)	オフピーク時運行本数(本/時)
名鉄三河線	三河八橋～猿投駅	単線	74	5時台～0時台	340(三河八橋)	4	4
名鉄豊田線	浄水駅～豊田市駅	複線	76	5時台～0時台	270(浄水)	8	4
愛知環状鉄道	三河上郷駅～万博八草駅	単線	54	5時台～0時台	380(万博八草)	3	3

資料：平成17年時点時刻表を基に作成

(2) バス

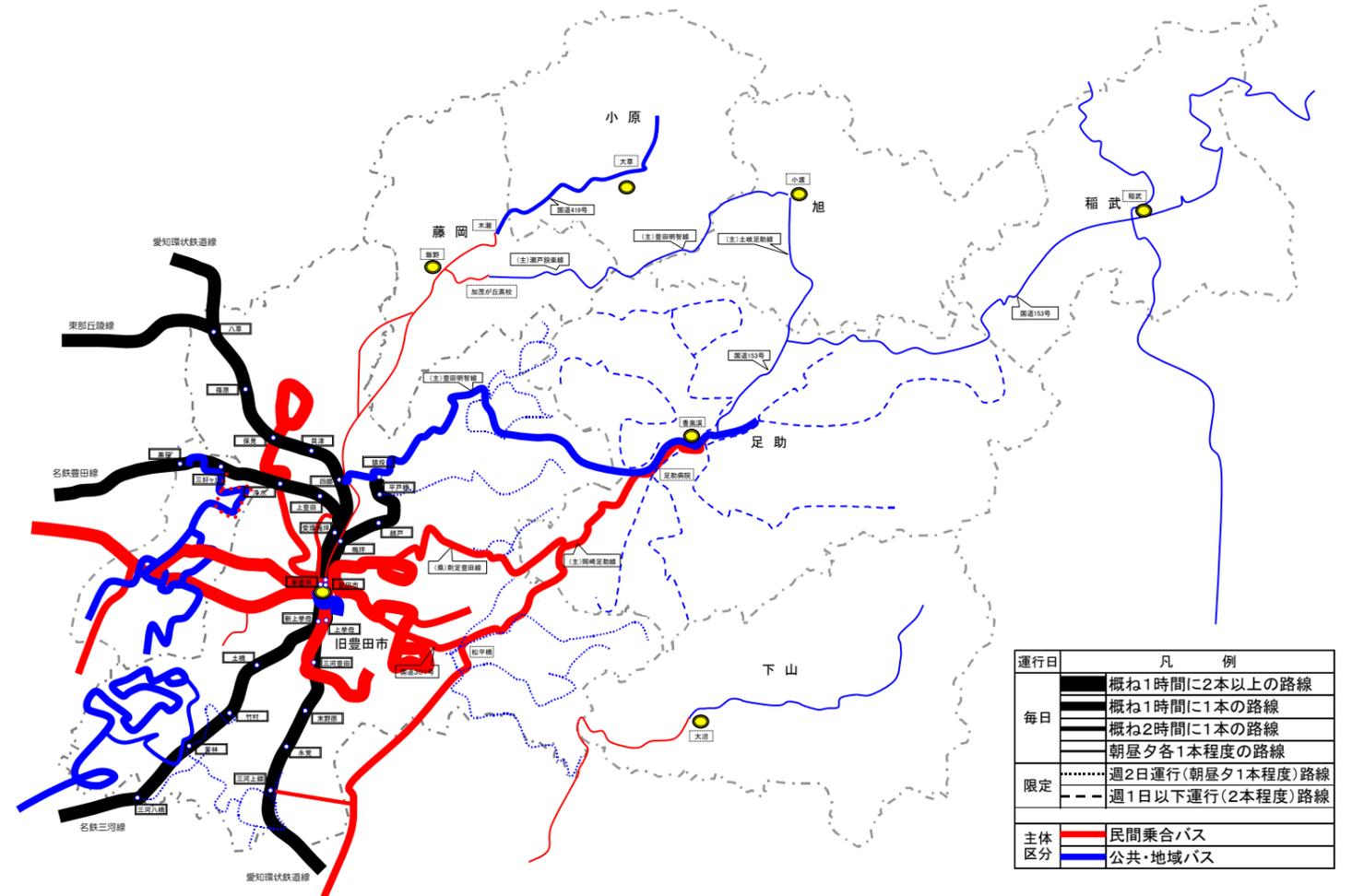
【運行本数】

- 市内のバス路線の内、基幹的な路線は概ね 1 時間あたり 1 本以上の運行本数が確保されている。
- 特に、豊田市駅を発着する路線で、三好町、赤池駅方面を結ぶ路線と豊田市駅近郊の大規模住宅地を結ぶ路線では、1 時間あたり 2 本以上で運行されている。
- 旧町村地域と豊田地域を結ぶ路線では、足助地区の支所までは概ね 1 時間あたり 1 本以上運行されているが、その他地区との連絡では、朝夕を中心に数本の運行のみで、さらに 1 路線で豊田地域までは行かず、乗り継ぎが必要な状況にある。

【料金体系】

- 民間バス路線では、乗車距離に応じて料金が設定されている区間制であり、圏域内の移動では概ね 200～800 円程度である。これらの路線は 1 部を除いて、概ね 1 時間に 1 本以上の運行が確保されている。
- 豊田・三好 1 次交通圏における基幹バスについては、行政が関与する路線も含めて、設定は若干異なるものの全て距離に応じた料金設定となっている。
- 地域バスでは、乗車距離に関係なくワンコイン(100 円)運賃が比較的多いが、市町村合併前の各自治体により定められているため、基本的な料金の統一は取られておらず、無料の路線もある。
- 地域バスでは、基本的に採算性が困難な路線で需要に応じた料金設定ができないため、運行本数サービス水準を考慮した上で、住民の最低限の生活交通を確保するため、または外出機会の増加を図る観点から、利用しやすい運賃を設定している。

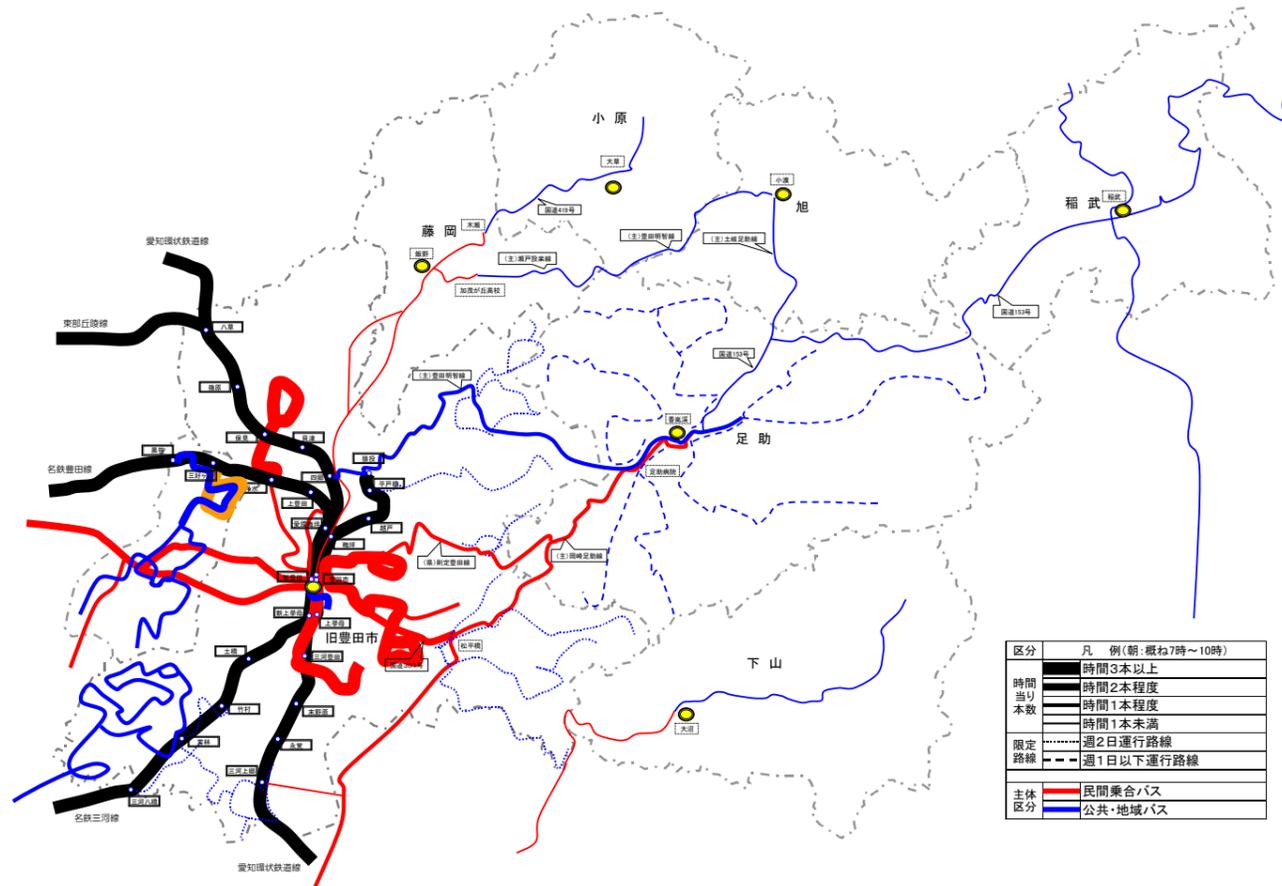
■ 公共交通の運行本数(平日)



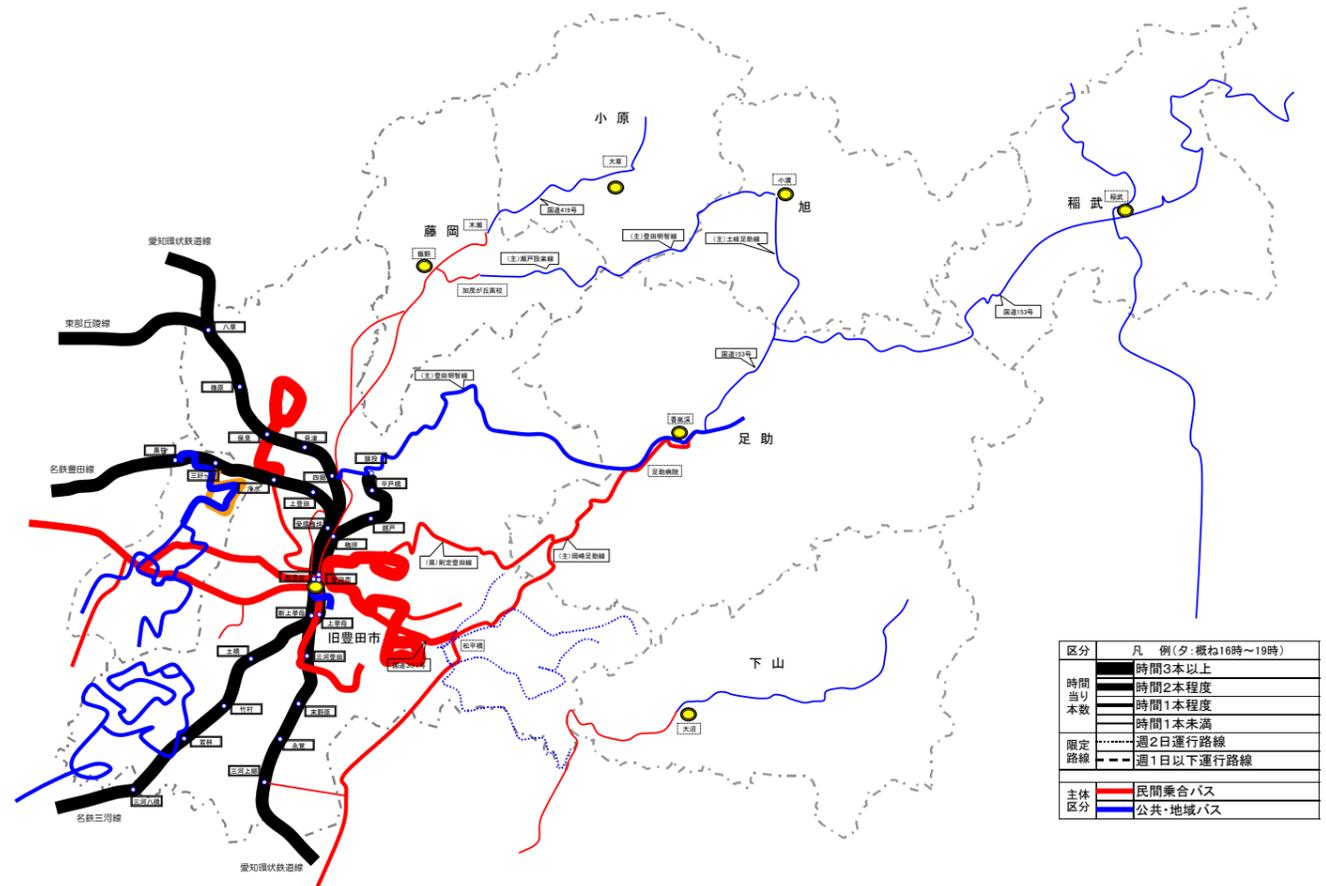
【時間帯別の運行本数】

- 運行時間帯は、基幹バスでは概ね 6～21 時台であり、各時間帯に 1 本以上の運行がなされている。
- 地域バスは、概ね 7～18 時台の運行であるが、時間 1 本未満、さらには朝夕に数本のみでの運行の路線もある。
- 豊田市全体としてみた場合、サービスレベルは異なるが、朝時間帯は概ね全域で運行されている。昼間時の時間帯でも概ね全域で運行されているが、本数的には朝時間帯に比べ若干少ない路線がある。
- 16 時～19 時台の夕方時間帯になると、旧町村地域は基幹路線を除いて運行されなくなる。
- さらに、19 時以降になると豊田地域、及び足助地区の基幹路線、及び高岡地区の地域路線を除き、各地区内のバスは運行されない状況となる。

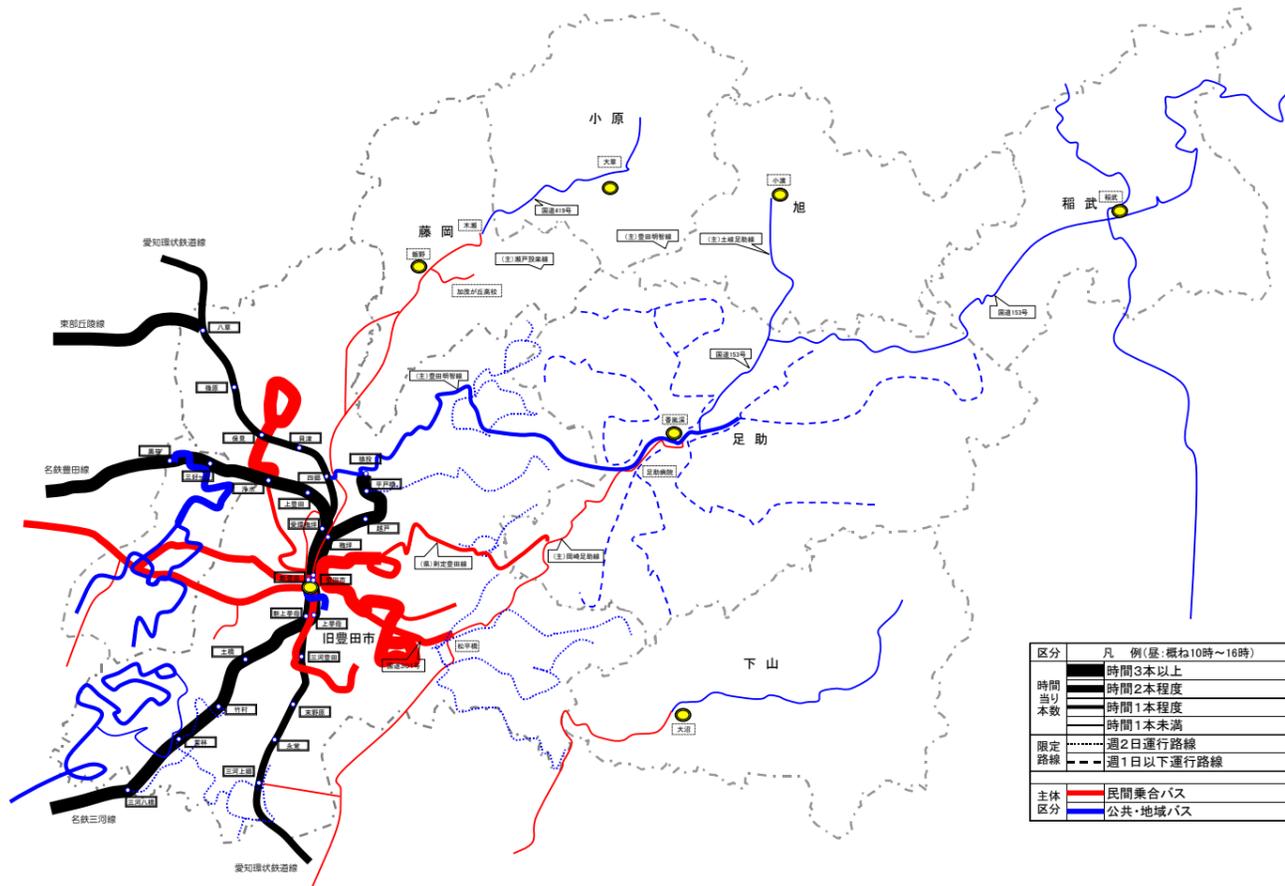
■ 時間帯別公共交通の運行本数の現状【平日：概ね7時～10時】



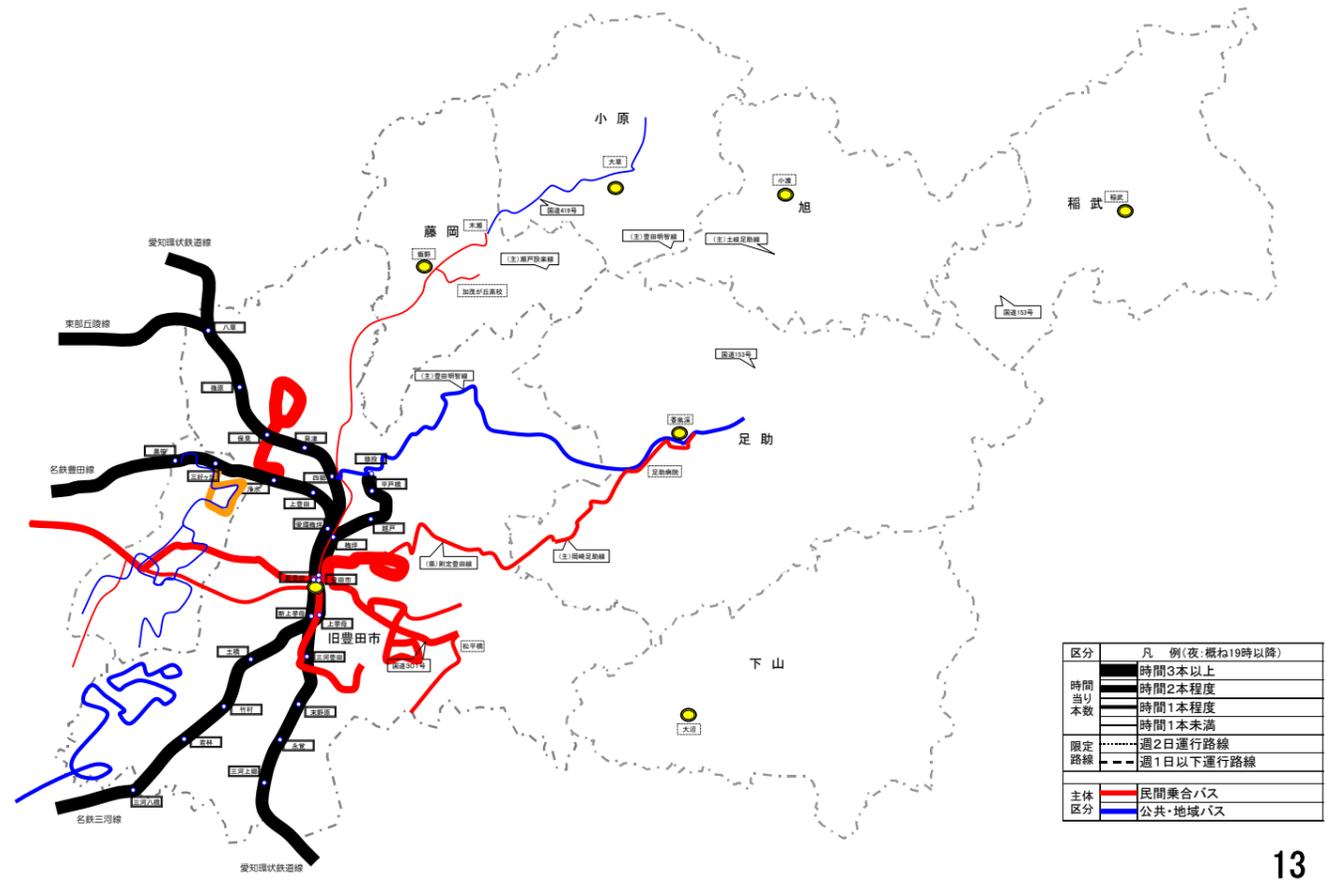
■ 時間帯別公共交通の運行本数の現状【平日：概ね16時～19時】



■ 時間帯別公共交通の運行本数の現状【平日：概ね10時～16時】

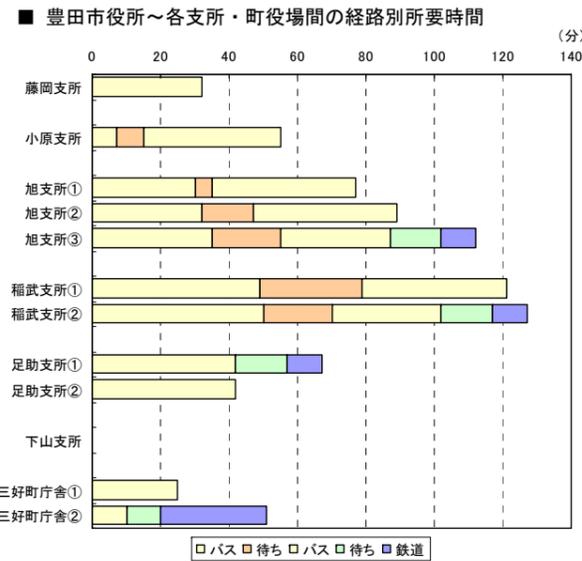


■ 時間帯別公共交通の運行本数の現状【平日：概ね19時以降】

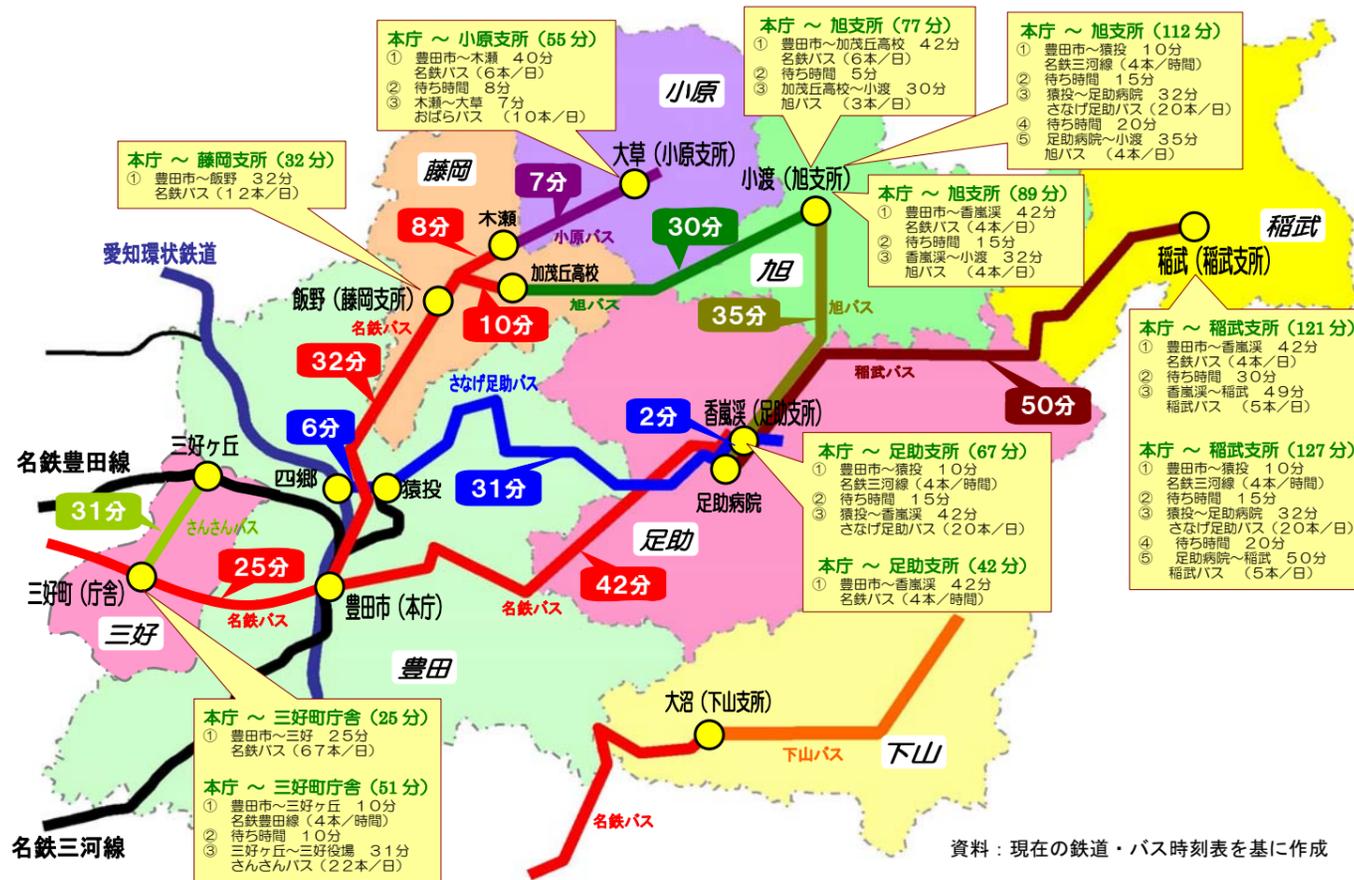


(3) 豊田地域中心部（豊田市役所）と各地区（支所・役場）間移動時間

- 現在の公共交通体系において、下山地区だけは豊田市役所と結ばれていない。
- 基本的には豊田市役所から遠い支所間ほど所要時間は長くなるが、最も遠い稲武地区では1時間30分以上かかる状況である。
- 特に稲武地区からのアクセスでは、公共交通機関の乗車時間に加え、乗り継ぎ待ち時間が多くなっている。
- 乗り継ぎなしでアクセスできる地区は藤岡、足助地区の2地区だけとなっている。
- 鉄道を利用できる地区もあるが、所要時間でみるといずれの地区においても利便性は高くない。



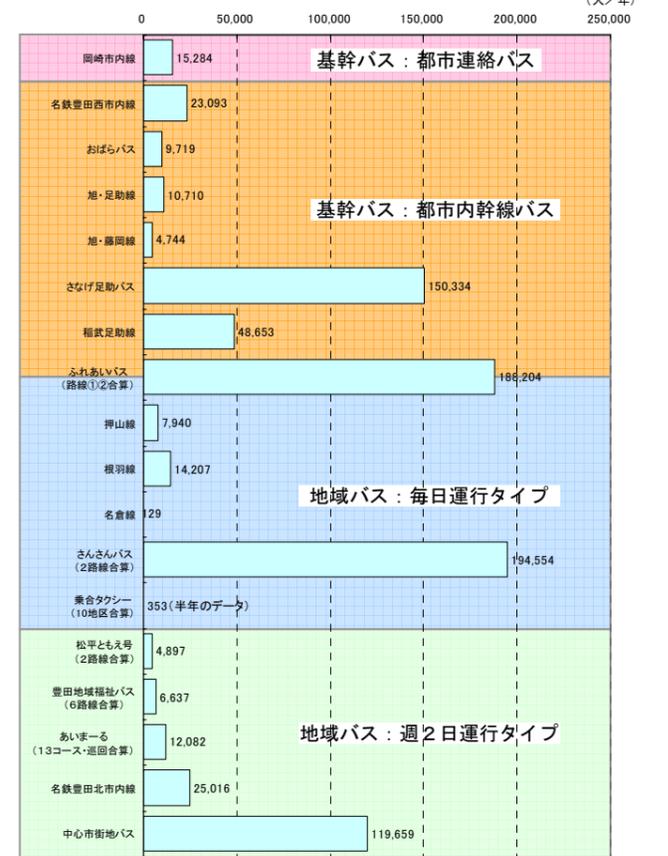
■ 公共交通機関による豊田市役所～各支所・町役場間の所要時間



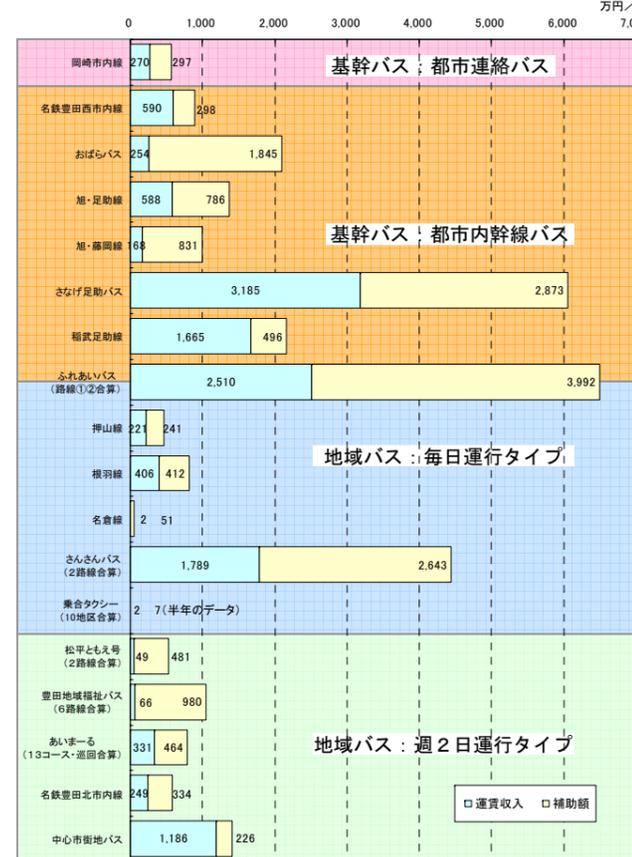
2-3-5 バス交通の利用状況

- 行政の補助を受けて運行しているバス路線の中で、ふれあいバス、さなげ足助バス及び中心市街地バスが年間利用者数 10 万人を超えている。
- 最も少ないのは、稲武地区を運行している名倉線となっている。
- 運行本数が多く、路線距離が長いため運行経費が高いふれあいバス、さなげ足助バスは、利用者が多いものの全体の補助額としては高くなっている。
- 利用者 1 人あたりの補助に換算した場合には、前記の路線は1回の利用あたり 200 円程度の補助額となるのに対し、1人1回利用あたりの補助額が 1,000 円を超えている路線も多くある。
- 路線の機能分類と地域的な関係でみると、全体的な経費は少ないものの利用者が極めて少なく毎日運行するタイプの路線で1人当りの補助額が極めて高いことが問題と伺える。

■ 公共が関与するバスの年間の利用者数 (人/年)



■ 公共が関与するバスの年間の運行経費 万円/年



■ 公共が関与するバスの利用者1人当りの運行経費 (円/人)

